

	依智 <small>イカ</small>	
	愛智 <small>エチ</small>	伊香 <small>イカ</small>
管十二	同 <small>衣知</small>	同 <small>伊加古</small>
同	同	同
十二郡	同 <small>國知元</small>	同 <small>國知元</small>
	同 <small>エチ</small>	同 <small>イカ</small>
同	愛知	同 <small>イカ</small>
同	愛智	同
同	同 <small>エチ</small>	同 <small>イカ</small>
十三郡	同	同

〔江濃記〕佐々木兩家わかりの事略○中

總領氏賴遁世の志有近江の國務の事道譽老人計にて總領方をも萬さし引しける、まかも八十餘年長命して、尊氏卿義詮卿二代の將軍につかへ、武家の政道を輔佐し、子孫四職の其一に撰られ、京極殿と稱し、近江國十三郡の中、八郡を六角方知行し、五郡を京極方に支配す略○下

志賀郡

〔伊呂波字類抄國安〕近江國略○中 滋賀シカ
〔郡名考〕近江國 滋賀シカ 志賀同

〔近江國輿地志略志賀六〕抑當郡は東琵琶湖の半を限とし、巽は栗本郡に交りて、南は山城の國二尾谷及び宇治醍醐の山に並び、坤は山城の國界牛尾山相坂の關山如意嶽に至り、西は大比叡なり、篠の嶺を限り、乾は山城嶺折立山鍵坂を界とし、北は高島郡界細川鹿瀬山に交り、艮は屈曲して高島郡界打下に接せり、村數七十九あり、蓋し志賀の文字、諸書に載るところ不同なり、日本紀志賀につくり、續日本紀には志我の文字につくれり、諸書にまたを、く滋賀の字にも書せり、いま日本紀に従、古老傳て云、往古郡中に志賀某と云ものあり、因て郡の名とすといへり、

臣 按ずるに、此説わづらはし、人皇十二代景行天皇の御宇、大和國纏向日代の宮より、都を當國志賀高穴穗宮に遷し給ひて、成務天皇、仲哀天皇相續てこの地に都したまふこと、日本紀にあ